笠間市地域おごし協力隊一活動報告





健康増進課主催ノルディックウォーキング



ショッピングセンターでの写真展示

和善(47歳) 千葉県より移住 橋本 プロフィール

変化していく自分を感じながら

着任して二度目の夏、活動の中でさまざまな体験をし、自分の引き出しが 増えたことを実感しています。この夏は、夏休みのお子さん向け体験教室に チャレンジすることになりました。元来人前に出て何かをするタイプではな いのですが、健康増進活動であるノルディックウォーキングのインストラク ターを行う中で、人前でもあまり動じないようになった気がします。

7月には私たちが一年間の活動で撮り溜めた風景写真を展示しました。昨 年に続き2回目となる今回は、市民の皆さんとの交流の結果か前回に比べて 人の営みが感じられる作品が揃ったと思います。

県内出身力士の活躍や、朝のドラマで盛り上がる茨城県ですが、この流れ に乗り遅れず 「笠間市」を全国に向けてしっかり発信出来るよう、これから も他の隊員と共に頑張ります。

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が 地方へ移住(最長3年)し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

地域おこし 協力隊とは

ブログやフェイスブックも ご覧ください

ブログ▶ http://ameblo.jp/kasamart-wa/

Facebook ▶ https://www.facebook.com/Kasamartowa

【問い合わせ】まちづくり推進課(内線 538)



「さようなら」ではなく「またね!」

ちょうど2年前の今頃、これから始まる笠間での新しい生活を楽しみにする気持ちと、 アメリカに残された家族や友だちが、うまくやっていけるだろうかと、心配する気持ち の両方を持って私は笠間市にやって来ました。想像していたよりも早く時間が経ち、も うお別れの時期が来てしまいました。

私は、笠間市国際交流員として、国際交流イベントや英語、異文化を教える出前講座、 大使の通訳など、さまざまな仕事にチャレンジする機会に恵まれました。その中で、一 番好きだったのは幼稚園と保育所での英語遊びでした。笠間市に来る以前は、子どもた ちに英語を教える経験がなく、最初の数カ月は理解できるように教えることについて考

える日々でした。しかし、時間が経つとともに慣れてきて、毎回「ジョーダン先生が来た!」と元気よく迎えてく れる子どもたちと英語で遊ぶことが大好きになりました。

仕事以外にも良い経験がたくさんありました。例えば、陶炎祭や笠間のまつりを通して、日本の文化や市民の皆 さんとつながることができました。また、笠間市AET (外国語指導助手) のみんなと仲良くなり、さまざまな国 の友だちができました。そして、生活するにつれて、日本語力がだんだんと上がり、日本語能力試験 1級に合格し ました。他にも、書道教室や韓国語教室など、ずっと前からやってみたかった趣味が充実しました。

この2年間で、たくさんのことを経験し、忘れられない思い出ができました。今まで私のイベントに参加してく れた方々、ジョーダンズビューを読んでくれた方々、皆さんに感謝を申し上げます。笠間市国際交流員としての時 間は終わりますが、また笠間市に遊びに来るので、「さようなら」ではなく、「またね!」と言わせてください。 Thank you all so much for making my time in Kasama special! See you around!

(笠間市国際交流員



10秒で分かる? 英語表現

Peace out!

ピース・アウト! (じゃあね/またね)

私が最後に紹介する英語表現は peace out! です。直訳 すると「平和、外!」になりますが、「じゃあね!」という お別れのあいさつです!この表現はスラングなので、カジュ アルな会話で使ってみてください。





友部図書館「夏スペシャルおはなし会」

笠間市国際交流員(CIR: Coordinator for International Relations)

JETプログラム(語学指導を行う外国語青年招致事業)で派遣され、英語教育と市の国際化に関わる活動に取り組んでいます。